

平成26年11月1日(土)

高等学校における多様な学習成果の評価手法に関する調査研究シンポジウム

総合学科「産業社会と人間」の
取組と評価について

北海道旭川南高等学校教諭

金箱 牧夫

旭川南高校は

- ◆旭川市内唯一の総合学科として旭川南高(普通科)と旭川北都商業の統合により平成21年度に開校(6年目)
- ◆良き伝統を受け継ぎながらも道北の中心都市旭川にふさわしい新生南高として、都市型進学型総合学科をめざす

3年間の教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
一年次	国語総合					倫理		数学Ⅰ			数学A		生物基礎		体育			保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ		コミュニケーション英語Ⅰ			英語表現Ⅰ		家庭基礎		社会と情報		産業社会と人間		LHR
二年次	現代文B	体育		保健	英語表現Ⅱ		総合		総合選択科目 (20単位)																			自由選択科目		LHR		
三年次	現代文B	政治経済		体育		総合		総合選択科目 (22単位)																			LHR					

6 系列の科目群設定

- ◎ 人間・文化系列
- ◎ 社会科学系列
- ◎ 自然科学系列
- ◎ 医療・看護系列
- ◎ 情報・ビジネス系列
- ◎ 国際コミュニケーション系列

選択科目メニューの特徴

①受験に対応できる「研究」・「発展」系の科目を厚く配置

数学研究Ⅰ・Ⅱ 探究生物 生物研究など

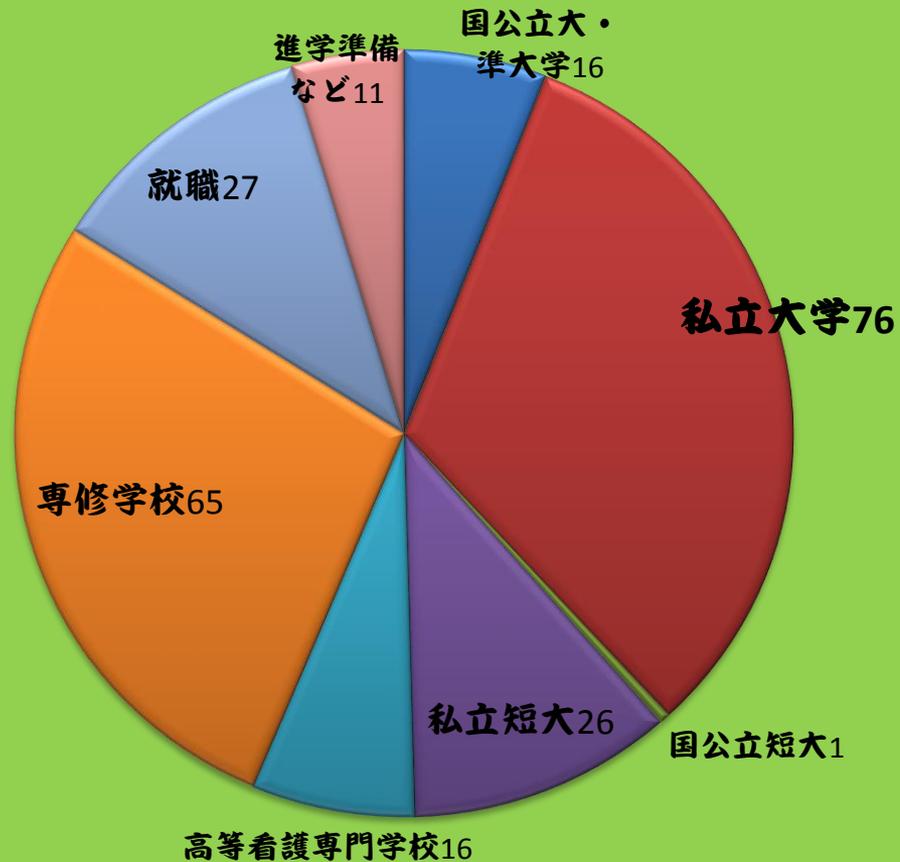
②希望進路に関連した実学系の科目

看護入門 社会福祉基礎 ネットワークシステム
子ども文化 など

③教養系の科目

隣国コミュニケーション(韓国・中国・ロシア語)音
楽表現 現代文学 スポーツⅠ など

進路(3期生の内訳)



センター試験出願者の推移

22年度（普通科最終）	45
23年度（総合1期）	88
24年度（総合2期）	71
25年度（総合3期）	87
26年度（総合4期）	118

本校の課題（将来像検討委員会提言より）

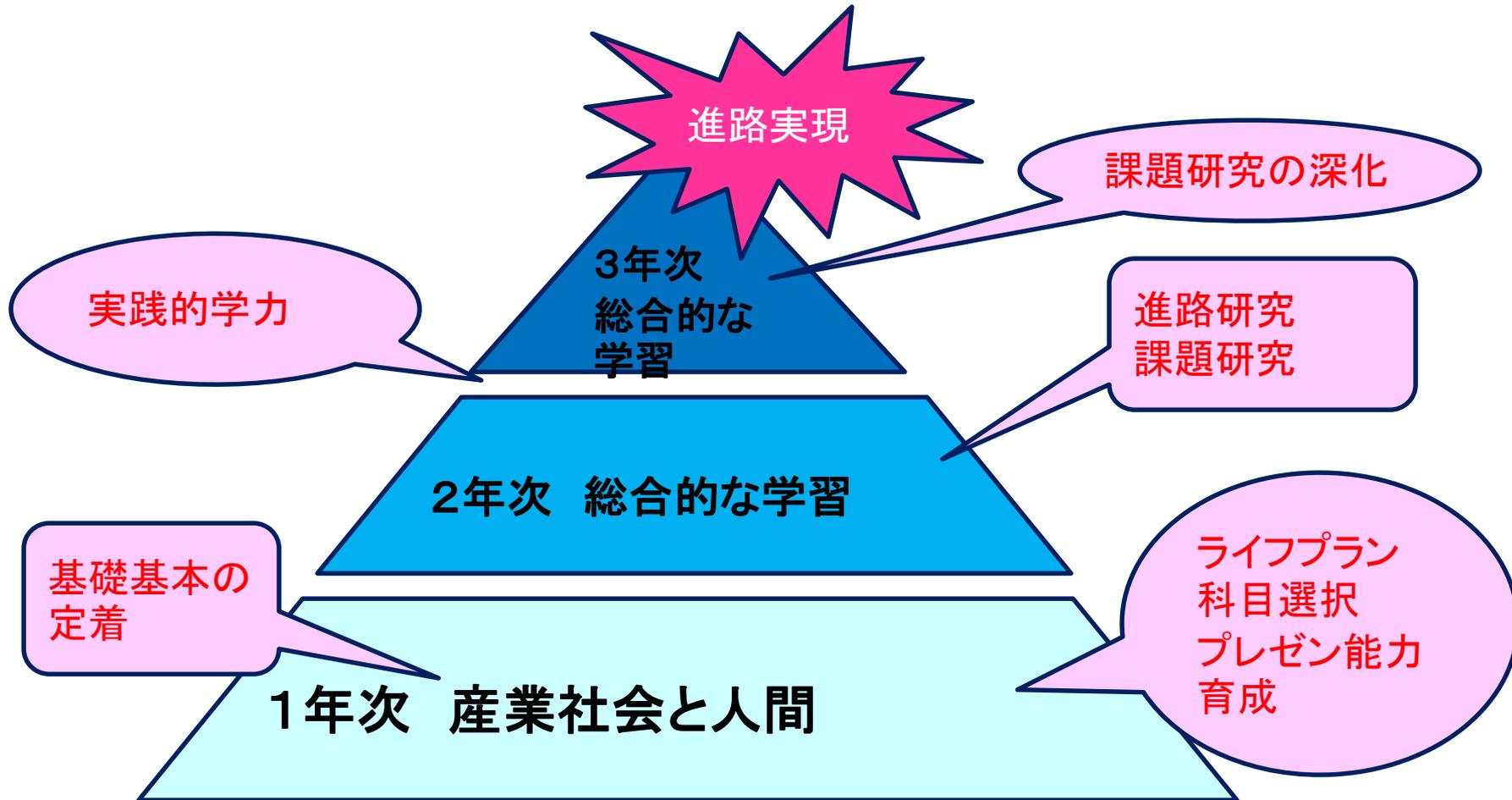
- 1) ①産社・総学におけるキャリア学習の充実と精選
②適切な科目選択指導・クラス編成
③課題研究の充実
④一人一人に合った進路指導

- 2) ①教育課程の整備
②3年間の指導計画、各教科・科目の目標、授業展開などの明確化
③授業の質的向上
④その他の学力を向上させる取組み（講習・学習会など）とその関連づけ

- 3) ①部活動の活性化
②行事の充実（生徒が主体的にかかわれる）

- 4) ①キャリア学習の中に人間教育を位置づける

キャリア学習の全体イメージ



「産業社会と人間」のおもな取組

- 自分を知る
- 学問・学部調べ
- 職業人インタビュー
- 科目選択ガイダンス
- 大学見学
- グループ別課題研究
- 表現トレーニング(グループワーク・小論文など)
- ライフプラン

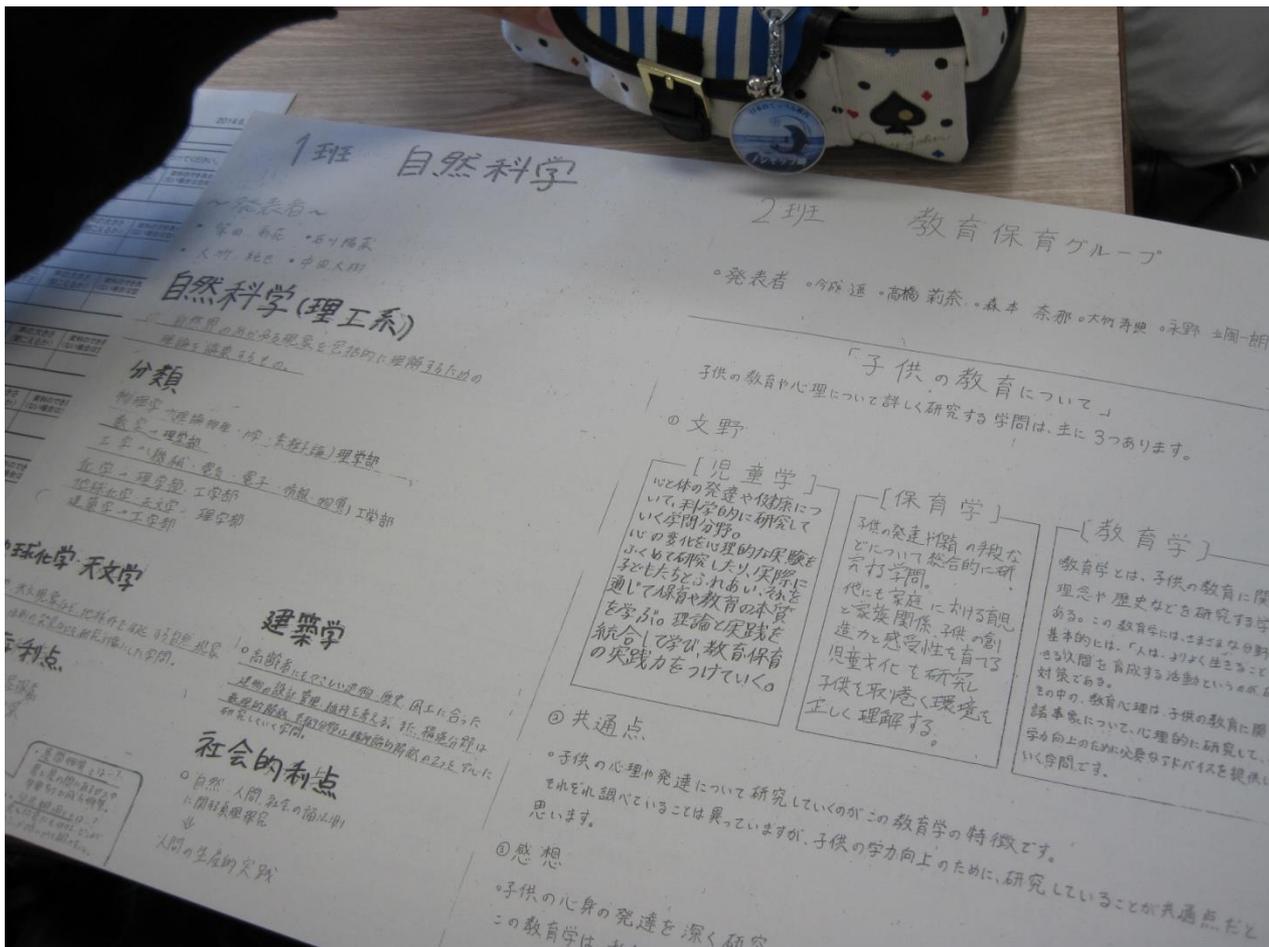
学問調べ(グループ発表)



学問調べ(クラス内発表)



学問調べ(クラス内発表)



1班 自然科学

自然科学(理工系)

分類

- 物理学 (理論物理学、応用物理学)
- 化学 (無機化学、有機化学)
- 工学 (機械工学、電気工学、情報工学)
- 生物学 (植物学、動物学)
- 地学 (地質学、気象学)
- 天文学
- 建築学

建築学

建築学は、人間の生活環境を改善するために、建築の設計、施工、維持管理を行う学問である。建築学は、建築の歴史、建築の理論、建築の技術、建築の文化などを研究する学問である。

社会的利益

- 自然環境の保全
- 人間の生活環境の改善
- 人間の生産的実践

2班 教育保育グループ

発表者：今成 遥、高橋 莉奈、森本 奈那、大竹 希典、永野 士風、胡

「子供の教育について」

子供の教育や心理について詳しく研究する学問は、主に3つあります。

○文野

【児童学】

心身の発達や健康について、科学的に研究していく学問分野。心の発達や健康の発達を研究し、実際に子どもと関わり、発達を促す。理論と実践を統合して学び、教育保育の実践力をつけていく。

【保育学】

子供の発達や健康の発達について総合的に研究する学問。他に家庭における育児と家族関係、子供の創造力と感受性を育てる児童文化を研究し、子供を取り巻く環境を正しく理解する。

【教育学】

教育学とは、子供の教育に関する理念や歴史などを研究する学問である。この教育には、さまざまな分野の基本的には、「人は、どう生きるべきか」という問いを軸とする。その中で、教育心理は、子供の教育に関する事象について、心理的に研究して、子どもの向上のために必要となるヒントを提供していく学問です。

◎共通点

- 子供の心理や発達について研究していくのがこの教育学の特徴です。
- それを調べていることは異なっていますが、子供の学力向上のために、研究していることが共通点だと思います。

◎感想

- 子供の心身の発達を深く研究し、この教育学は、

職業人インタビュー（グループ内発表）



自分の発達をサポートする
幼稚園・学校前を学ぶ 保育園:生活をするところ
なぜおやつを決まった時間に食べるのか知ることができ、なるほど
らおひるね後は気が悪いので、おかしを食べさせてリフレッシュさ
るということについて気がついたことや考えたこと

自分のなりたい職業ややりたい仕事に就くためには、高校生や学生
から、努力を続けていかなければならないということ。
自分の性格や好みに合った職業を目指し、その職業を現実させるため
に考えた言葉とその理由

長を身にしてみることができると
んになりたい

職業人インタビュー(学年発表)



社会人講演会



先輩に聞く



大学見学会



大学見学会

実驗中(室工大)



All English(小樽商大)

ライフプラン(クラス内発表)



文部科学省の研究指定について

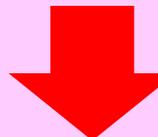
平成25年度からの3年間

「多様な学習成果の評価手法」に関する研究
指定

文科省



道教委



旭川南高校

基本的な考え方

- ①客観的に測りにくい学習成果に対して「責任ある主観」に基づいて評価する
- ②科目や課題の目標(身につけたい力)と評価規準を明確化し、目標と指導と評価の一体化をめざす
- ③生徒にとってよい学びの契機となる評価
- ④評価疲れに陥らない、使い勝手のよい評価をめざす

本校での取組

- ①「産業社会と人間」「総合的な学習」における多様な学習成果に対する評価のあり方を研究する
- ②そのノウハウを生かして他の教科においても「多様な学習」を実践し、評価法を研究する
(数学・理科・家庭科)

産社の目標・評価の観点

①論理的思考力

②主体的行動力

③構想力

+

④コミュニケーション能力

の育成をめざす

パフォーマンス課題の実施と評価の流れ

- ①担当者打ち合わせ（観点・基準等）
- ②生徒への説明（ルーブリックの提示）
- ③課題実施
- ④自己評価（または相互評価）
- ⑤教員による評価 → 生徒に提示

個々の課題の評価を集積して学期末
の評価・学年末の評定につなげる

研究を通じて見えた課題

- ①適切かつ効率的な評価法
 - ②評価基準の統一
 - ③評価が生徒の変容につながるか
 - ④パフォーマンス課題の検討・整理
- 身につけたい力とそれに対応した課題
生徒・教員の負担感の問題
産社を楽しむには？